平成３０年度の事業報告書

平成３０年１月１日から平成３０年１２月３１日まで

　　特定非営利活動法人京都ダンス振興協会

１　事業の成果

子どもから大人までの多様で幅広い年齢層の個人・団体に対して、ダンスの普及・振興により文化的で豊かな社会を創り出すために、ダンス振興に関する事業を行った。

本年度は、主に、一般市民を対象とした健やか京都杯社交ダンスコンテストとして、気軽に参加できる競技会をさらに多くの方が参加しやすいように新人の部をつくり、ダンス愛好家の参加者増を図る事業を行った。

また、各地域で活動するダンスサークルの発表の場をつくり、活動を支援するため、ダンスの祭典ＩＮ京都を開催し、６のサークルによる９チームの参加を得た。今年は車いすダンス国際大会のメダリストによるデモンストレーションや、社交ダンスのプロフェッショナルによる模範演技で観客を魅了した。

なお、各地域の公民館等で活動する地域のサークルや障碍者団体の要望に応じて、無料で講師の派遣や慰問をつうじて、正しいダンスの普及を目指す事業としてのダンスキャラバンは行うことができなかった。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事 業 名(定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の実施日時(B)当該事業の実施場所(C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲(E)人数 | 事業費の金額（単位：千円） |
| ダンス振興のための交流会の開催ダンス振興のための交流会の開催ダンス振興のための講演会・講習会・研修会・交流会・練習会等の開催ダンス振興のための講演会・講習会・研修会・交流会・練習会等の開催 | ダンス交流会の開催社交ダンス愛好家をおもな対象として、ダンス交流会を開催し、より多くの人にダンスの楽しさを知ってもらう。ダンス交流会の開催社交ダンス愛好家をおもな対象として、ダンス交流会を開催し、より多くの人にダンスの楽しさを知ってもらう。ダンスの祭典ＩＮ京都の開催様々なジャンルのダンスサークル等の発表を行い、地域に根差した活動をしているダンス関係のサークルの支援を行い、併せて社交ダンスの楽しさを知ってもらう事により、ダンスの普及を図った。　アイリッシュダンスの講習も行ってもらった。健やか京都杯社交ダンスコンテストの開催正式の競技会に参加したことのない方を対象に、気軽に参加できて、ダンスの楽しみ方の一つとなる様な、スポーツダンス的なミニコンペを開催することによって、新たなダンス愛好家を増やしていく。単独の事業としてはまだ無理があるため、ダンス交流会及びダンスの祭典IN京都と併催しておこなった。本年は、カップルの合計年齢が140以上のプラチナクラスをつくり、高齢者の方も参加しやすいものとした。 | 1. 平成30年3月2１日

12：00から17：00 (B)ラボール京都(C)25名(A)平成30年9月2日(B)ひとまち交流館京都（C）25人1. 平成30年11月18日

(B)ロームシアター京都(C)30名(A)①平成30年3月21日②平成30年9月2日③平成30年11月18日(B)①ラボール京都②ひとまち交流館京都③ロームシアター京都（C）①10人②10人③10人 | (D)京都府内の人(E)約70人(D)社交ダンス愛好家(E)約60人(D)京都府内の人と合わせ、他府県の人も(E)300人(D)京都府内の人(E)①36人、延べ184人②45人、延べ196人③70人延べ144人 | 250250550①50②50③50 |